

【学校紹介】

根子岳の裾野、その幾多の斜面を利用して、スキー場、レタス畑、100面以上のグラウンドが広がる標高1300mの菅平高原。春から秋にかけてはラグビー・サッカー・陸上のメッカとして多くのスポーツ選手が合宿に訪れます。また冬場は、スキー客で賑わいます。

菅平小中学校は、菅平高原の西側に位置し、スキー場まで歩いてわずか5分という立地、リフトを乗り継げば根子岳山麓のコースならどこにでも行けるという場所にあります。そのため、スキー学習には最適な自然環境をそなえた学校であり、スキーとは切っても切れない環境の中で、スキーを「校技(学校を代表するスポーツ)」としています。体育学習や課外活動にも積極的に取り入れ、自己の生き方を考え、身をもって体験する進路指導の場としても重要な活動と考えています。スキーを通して学校教育目標の具現化を図っており、卒業生もこの地に戻り、何らかの形でスキー産業に携わっています。また、小中併設校であることを生かし「小中一貫教育」として一人一人の子どもについて小中学校の全職員が理解し、9年間を見通した指導に努めるとともに、一人一人の個性の伸長を図っています。

1 テーマ設定の理由

菅平の発展は、長い年月にわたる先人の開拓のうえに打ち立てられており、子どもたちの教育は、先人から受け継いだ区民のたくましい開拓精神によって支えられています。いま、社会が多様化し、国際化・情報化の時代を迎えています。本校では、菅平の自然・歴史・産業・文化を大事に受け止め、この郷土菅平の将来や広く日本の未来を一層拓くために、自己教育力を身につけ、豊かな大地に学ぶ心を育てる教育をすすめています。

菅平では80%以上の保護者が地元産業に就き、また25～35歳の男子卒業生の半数は菅平に戻って生活をしているという特徴があります。子どもたちや地域の将来を考えたとき、菅平の産業(農業・観光業)に携わりながら、地域の発展のために積極的に関わろうとする人材作りは欠かせません。そこで、「菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる」という目標を掲げ「この地に生きることの喜びを実感する」ために、「地域との交流、体験の実践」や「生活科、総合的な学習の時間やキャリア教育を通して、地域の農産業や観光産業を知る学習」を大切にしながら、この地に誇りと愛情をもち大切にすることを育んでいきたいと考え、テーマを設定しました。

2 テーマに関わる実践の内容

① トウモロコシ作りと販売(小学校)

菅平は高原野菜を中心とする農業が盛んです。トウモロコシを栽培・販売する活動を通して、子どもたちが自分たちの身近にある菅平の農業のすばらしさを実感しながら、お世話になっている方に感謝の気持ちを持ち続けることができる心を育む活動として行っています。



② ふれあい伝承広場（小学校）

地域のお年寄りから昔の遊びなどを教わり交流しています。



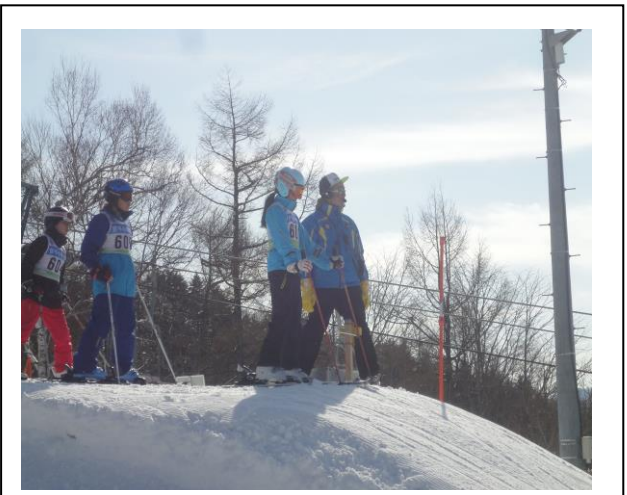
③ リフト救助訓練（小学校）

冬場毎日のように乗るリフトの救助訓練をします。



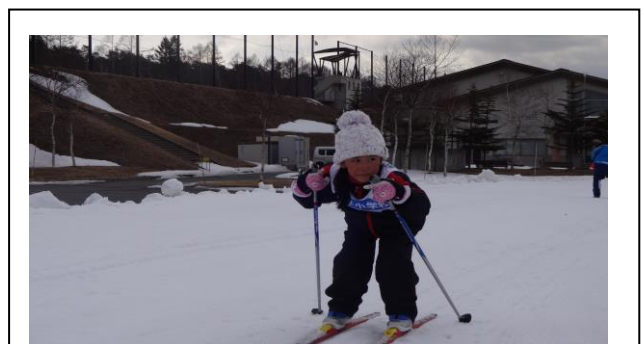
④ 校内スキー アルペンジャンプ大会(小学校)

スキークラブの方や保護者が全面的にコース作りや記録計測をバックアップしてくれます。

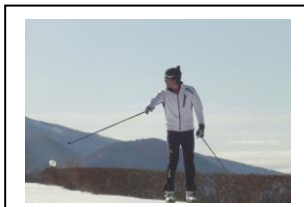


⑤ 校内スキー大会 クロスカントリー大会（フリー左 クラシカル右）

アルペンジャンプ大会同様に、コースづくりや計測に協力してくれます。



お世話になっているコーチやOBで現役選手が試走をしてくれます。地域あげての区民大会



⑥ 区民一斉清掃協力（中学）



学校林整備（中学） 同窓会のOBも参加



⑦ ジャンプ台草刈り（中学）保護者参加



スキー出発式 各コーチから話をしてもらいます。

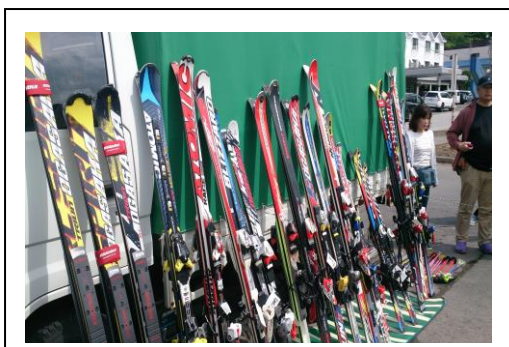


⑧ 3月下旬恒例の区民スキー大会 小中学生、コーチ、保護者、ご年配の方などみんながエントリーして、菅平小・中と区民のみなさんと大会を盛り上げます。



⑨ 年2回のバザー

菅平のカントリーフェスティバルと一緒に
行っています。



成果と課題

信州型コミュニティースクールが言われていますが、菅平小
中学校では、以前よりとても地域と連携がとれています。課
題としては、少子化に伴う児童生徒の減少、競技スキーに取り
組む生徒の減少、夏部活サッカーの上小大会の代わりに校
長杯への参加などの変化への対応、併設ではありますが、小
中一貫校としてのさらなる教育の充実などに協力してい
きたいと考えています。